

PACIFIC. AUTHENTIC. RICHMONDBC

日帰りで楽しむリッチモンド

ブリティッシュ・コロンビア州リッチモンドは、クルーズ旅行やRV（キャンピングカー）の旅、または州内の見どころ巡りの前後に気軽に立ち寄れる便利で快適な街です。バンクーバー国際空港（YVR）からわずか数分。活気あるこの街では、遠くへ足を延ばさずとも、気軽にくつろぎながら散策を楽しめます。

クルーズ後

クルーズのご利用後、ランドシー・ツアーズ&アドベンチャーズまたはウェストコースト・サイトシーイングのバンクーバー市内観光ツアーを予約している方は、リッチモンドのホテルやバンクーバー国際空港（YVR）まで送迎サービスをリクエストできます。また、カナダライン・スカイトレインを利用すれば、クルーズターミナルからリッチモンド中心部や空港まで直通でアクセスできます。

RV（キャンピングカー）後

RV旅行者にとっても便利です。ほとんどのレンタル会社が、リッチモンドのホテルやバンクーバー国際空港（YVR）までの返却送迎サービスを提供しています。

手荷物預かり

フライトまで時間がある方には、バンクーバー国際空港（YVR）のCDS Priority Baggageが便利な手荷物預かりサービスを提供しています。

一日のプラン

歴史ある港町、スティーブストン・ビレッジから充実の一日をスタートしましょう。ここではカナダの海洋史と深いつながりを持つ街です。まずは、地域を代表するランドマークのひとつ、**国定史跡 ジョージア湾缶詰工場博物館**（約1時間）から訪れてみましょう。1894年に建てられたこの旧サーモン缶詰工場は、現在は博物館として保存され、西海岸の漁業とその発展を支えた人々の歴史を興味深く紹介しています。



必見
フィッシャーマンズ
ワーフ
①



必見
モンクトン・
ストリート
②



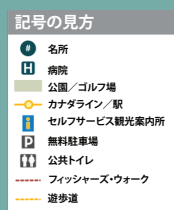
必見
国定史跡
ジョージア湾
缶詰工場博物館
③

詳しくはウェブサイトをご覧ください: [VISITRICHMONDBC.COM](https://www.visitrichmondbc.com)

または担当者までお問い合わせください。 | mwko@tourismrichmond.com

名所

- 1 フィッシャーマンズ・ワーフ
- 2 モンクトン・ストリート
- 3 国定史跡 ジョージア湾缶詰工場博物館
- 4 ブルー・カヌー・ウォーターフロント・レストラン
- 5 パジョズ・フィッシュ&チップス
- 6 ブリタニア造船所国定史跡
- 7 リッチモンド・オリンピック・エクスペリエンス
(リッチモンド・オリンピック・オーバル内)



そこからは、村の中心部を走る**モンクトン・ストリート**をのんびり散策しましょう(約1時間)。個性的なブティックや地元アートのショップ、居心地の良いカフェが並び、ギフトや洋服、アート作品を探しながらの散歩にぴったりです。近くの港や行き交う漁船を眺められる景色が、この街並みにさらに趣を添えています。

ランチには、マリーナを望む**ブルー・カヌー・ウォーターフロント・レストラン**(約1時間半~2時間)がおすすめ。新鮮な地元産のシーフードを、落ち着いた雰囲気の中で北米西海岸ならではの味わいとともに楽しめます。もっと気軽に楽しみたい方には、地元で愛される**パジョズ・フィッシュ&チップス**がおすすめ。フィッシャーマンズ・ワーフの有名な浮き橋にあり、サクサクのフィッシュと黄金色のフライドポテトが評判の一軒です。港町らしいのんびりとした雰囲気に包まれながら、水辺でのアウトドアランチを満喫してください(約1時間)。

ランチのあとは、水辺を散策しながら**ブリタニア造船所国定史跡**へ向かいましょう(約1時間)。ここには造船所や缶詰工場、宿舍や住宅として使われていた建物群が保存されており、地域の造船業や漁業の

発展を支えた多文化の労働者コミュニティの姿を垣間見ることができます。

屋内で過ごしたい方には、**リッチモンド・オリンピック・エクスペリエンス**(約1~1時間半)がおすすめです。リッチモンド・オリンピック・オーバル内にあるこのインタラクティブな博物館では、2010年バンクーバー冬季オリンピック・パラリンピックの熱気を、没入型の展示やスポーツシミュレーター、オリンピック関連の記念品を通じて体感できます。年齢を問わず楽しめる施設で、スポーツ好きには見逃せないスポットです。



詳しくはウェブサイトをご覧ください: [VISITRICHMONDBC.COM](https://www.visitrichmondbc.com)

または担当者までお問い合わせください。 | mwko@tourismrichmond.com